

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第9巻第53号

第53週(12月28日～1月3日)

発行年月日:平成22年(2010年)1月13日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

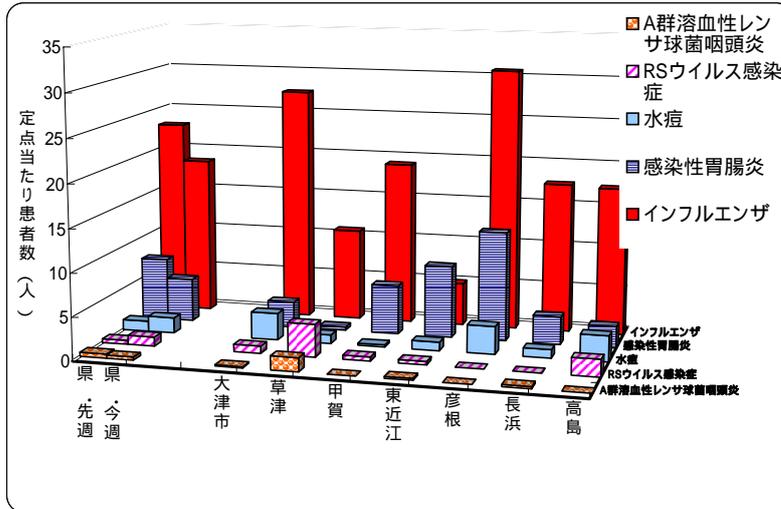
インフルエンザの発生は、減少傾向 インフルエンザ警報は、発令継続中

定点把握の対象となる五類感染症の患者報告数は、先週よりかなり減少し、約20%減となっています。大部分は、インフルエンザおよび感染性胃腸炎の減少であり、年末・年始に休診している医療機関が多かったことも影響している可能性があります。今週増加した疾患は、RSウイルス感染症、水痘等で、他の疾患については疾病別定点当たり患者数のグラフ参照。また、インフルエンザの保健所管内別発生状況は、別紙グラフに示すとおりです。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、インフルエンザでは先週より減少しているものの、全ての保健所管内で警報発生基準値を超えており、第43週(10/19～10/25)以降県内全域にインフルエンザ警報が発令されています。また、**インフルエンザ警報の解除は、終息基準値(10.00)を超える全ての保健所管内人口の合計が、県人口全体の30%未満になった時点で解除します。**

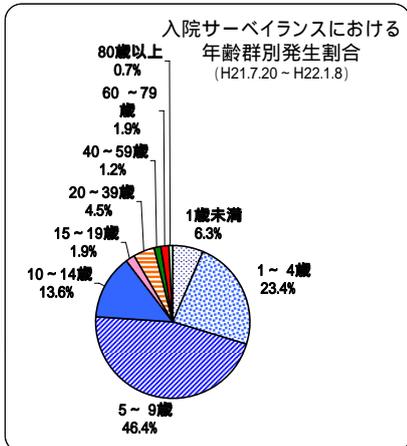
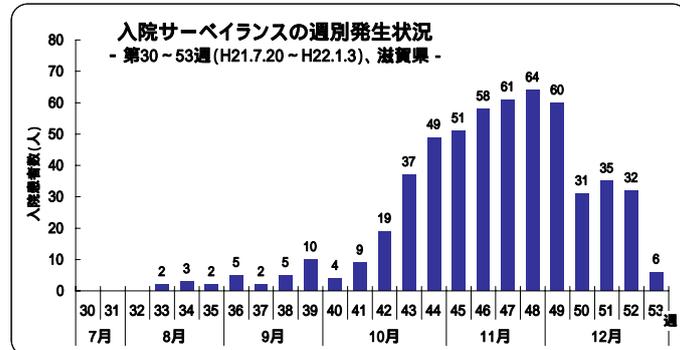
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で1名の届出がありました。

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第53週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の順に多くなっています。インフルエンザは、大部分の保健所管内で、先週より減少していますが、彦根で微増となっています。RSウイルス感染症は、草津で急増しています。

インフルエンザの入院サーベイランスにおける入院患者の発生状況



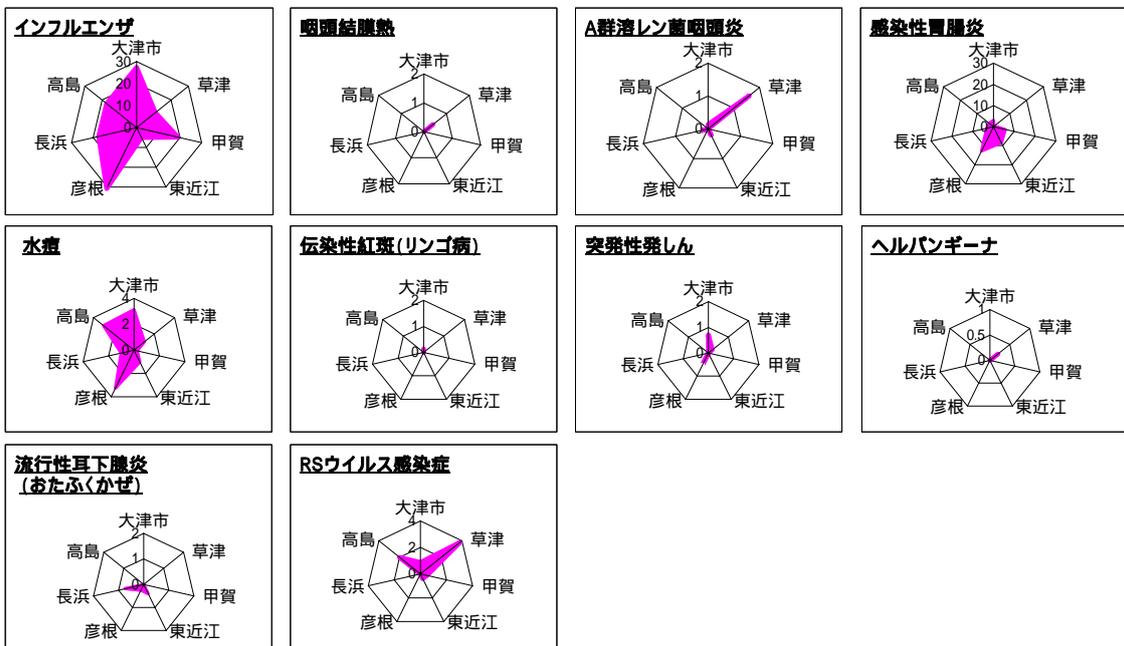
第30～53週の週別発生状況は上記グラフのとおりです。平成22年第1週(1/4～1/10)は1月8日現在で、入院患者数は26名となっています。また、平成21年第30週～平成22年第1週(H21.7.20～H22.1.10、1/8現在)の年齢群別発生状況は左記のグラフのとおりです。

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第53週、12/28～1/3)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	18.52	27.45	10.78	19.14	5.00	30.71	17.57	17.33	
RSウイルス感染症	1.06	0.86	3.80	0.50	0.40	0	0	2.00	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.06	0	0.40	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.35	0.14	1.60	0	0.20	0	0.25	0	
感染性胃腸炎	5.06	3.00	0.40	5.75	8.40	12.75	3.25	2.50	
水痘	1.81	3.14	1.00	0.25	1.00	3.25	1.00	3.00	
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.26	0.71	0.20	0	0	0.50	0	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0.20	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.19	0	0	0	0.40	0.25	0.75	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)

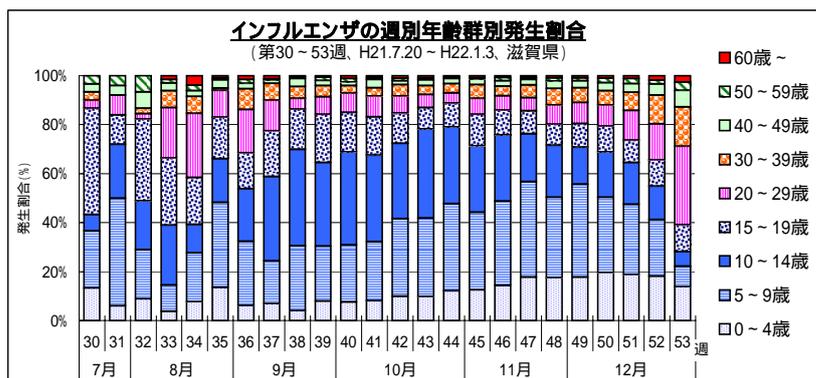


(3)今週の発生状況

RSウイルス感染症-----県全体では先週より増加し、特に、草津保健所管内の定点当たり患者数は3.80と急増しています。県全体の年齢別割合では、1歳未満 75.7%、2歳 12.1%、3歳 6.1%、4歳 3.0%、6歳 3.0%となっています。

水痘-----大津、彦根および高島で多くなっています。特に、大津で先週より急増しています。

インフルエンザの週別年齢群別発生割合

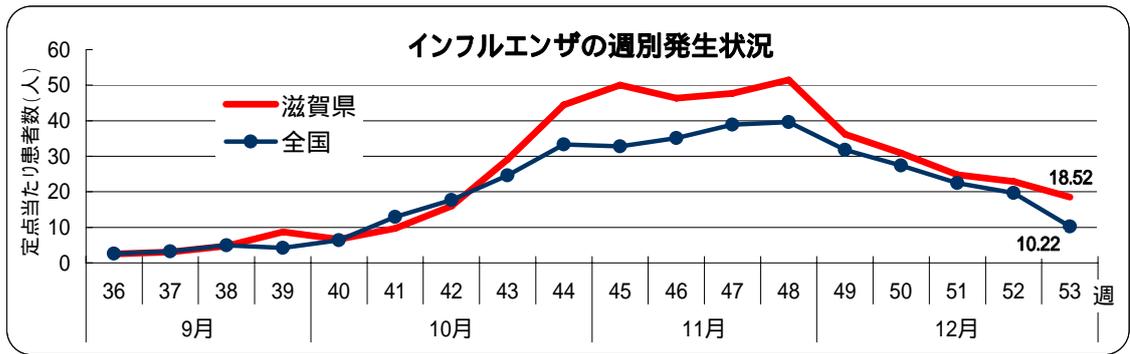


第30～53週における年齢群別発生状況は下記のとおりです。

- 0～4歳 13.8%
- 5～9歳 8.4%
- 10～14歳 5.9%
- 15～19歳 11.0%
- 20～29歳 32.0%
- 30～39歳 16.1%
- 40～49歳 6.8%
- 50～59歳 3.4%
- 60歳以上 2.6%

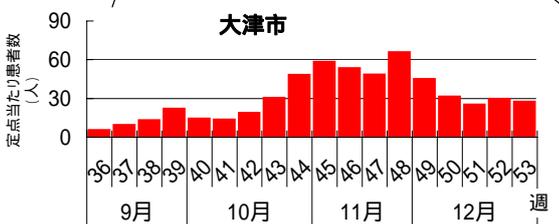
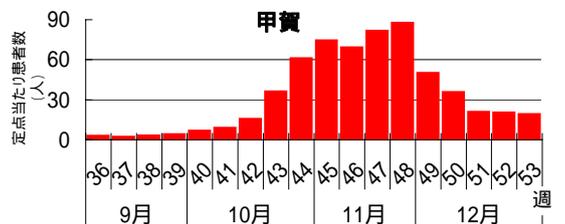
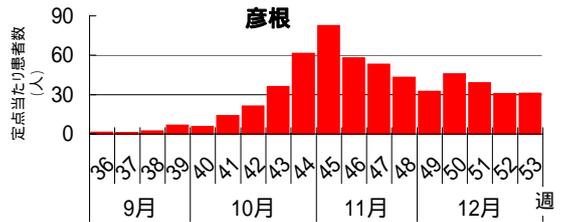
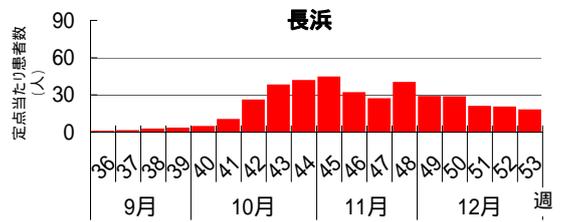
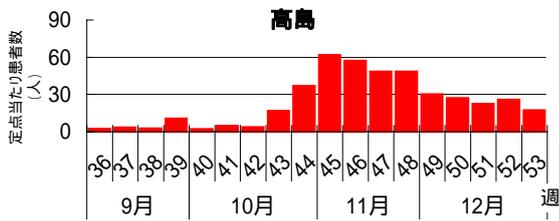
滋賀県における保健所管内別インフルエンザの発生状況

滋賀県・週別発生状況



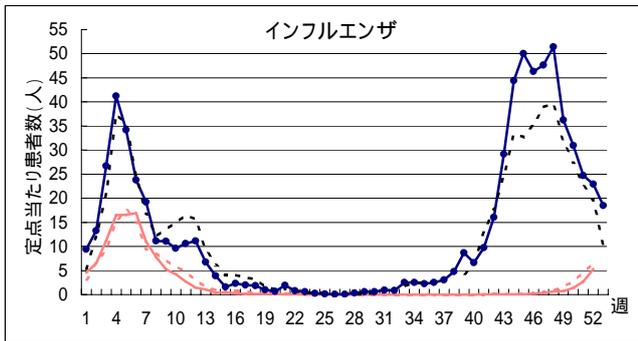
保健所管内別・週別発生状況

[トップページに戻る](#)

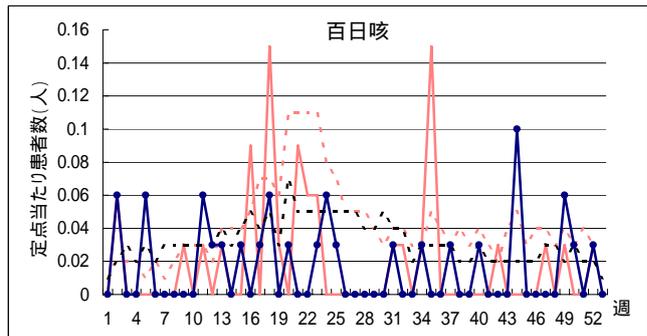
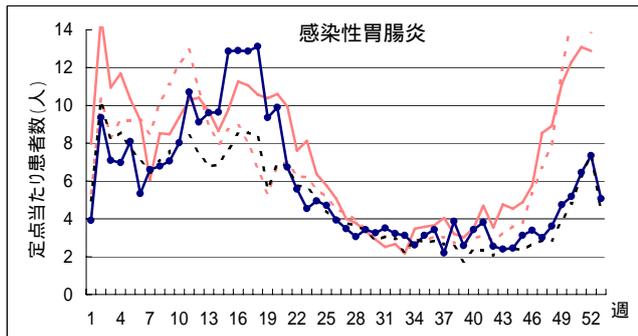
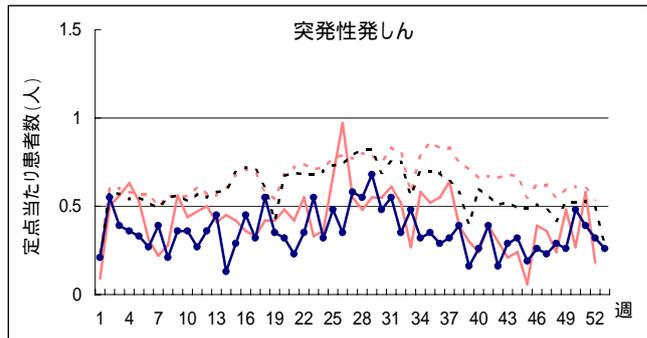
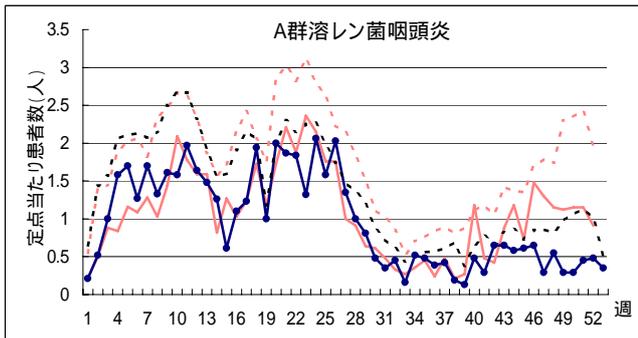
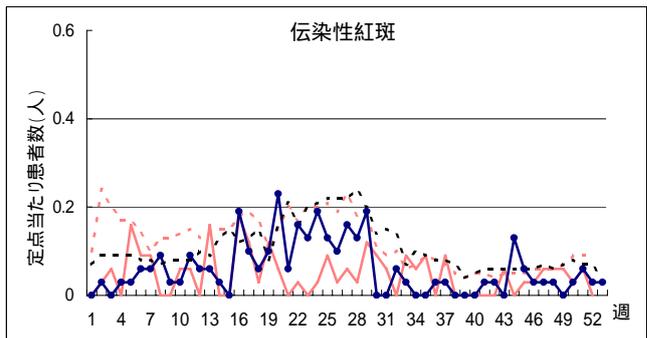
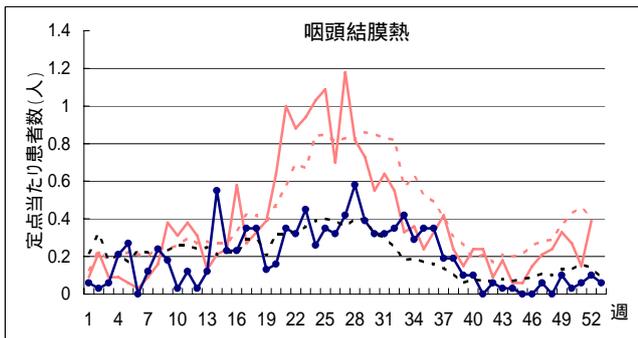
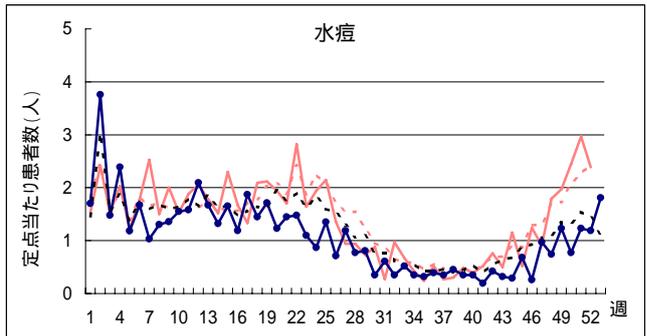
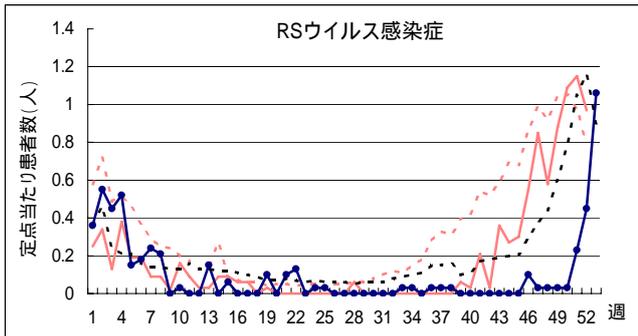


[トップページに戻る](#)

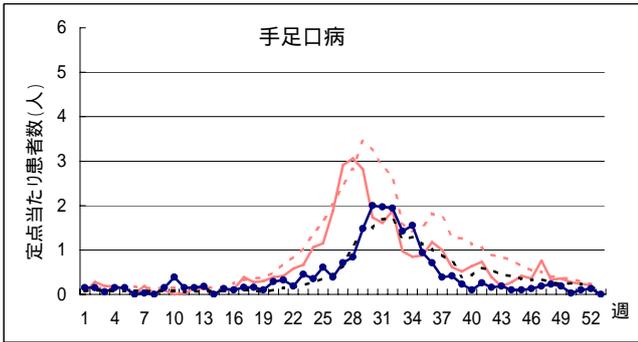
疾病別定点当たり患者数(平成21年第1~53週、H20.12.29~H22.1.3)



H20 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H21 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第1～53週、H20.12.29～H22.1.3)



H20
 〔 滋賀 ————
 全国 ……
 H21
 〔 滋賀 ————
 全国 ……

